

小規模多機能居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	エフビー介護サービス(株)	代表者	柳澤 秀樹	法人・事業所の特徴	「ケアライフ春日」は、住宅型有料老人ホーム・訪問介護・小規模多機能型居宅介護事業所・通所介護・居宅介護支援事業所を同敷地内に併設した、上越市初の複合型施設です。‘自分らしさ’を大切に、住み慣れた町での暮らしを支えます。				
事業所名	小規模多機能あつたかほーむ春日	管理者	藤田 梨恵						
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	合計
	1名								
項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見		今回の改善計画				
A.事業所自己評価の確認	・事業所の目標、職員各々の目標を明確にし、目標達成に向け職員一人一人が必達出来る様意識を高く持ち取り組む。前回未達だった目標はなぜできなかったのか等も自身で検討し、一つでも多くの目標が達成できる様努力する。また、担当利用者様は利用終了まできちんと責任を持ち、エキスパートとなるべく努力する。	・全職員が目標を定め達成できるように自分なりに創意工夫し期間を定め実施出来た。目標を達成については、出来た職員と出来なかった職員がいた。内部研修は集合開催が出来ない時が多く、書面開催、レポート提出で全員が取り組むことが出来た。外部研修には参加回数は制限があったり、中止になったりと少なかった。	・何度か経験されている方が多く、スムーズに行えることが出来た。 ・コロナ禍の為、集合しての意見交換は出来ないが、事業所評価を見て頑張っていることが伝わる。等		・事業所の目標、職員各々の目標を明確にし、目標達成に向け職員一人一人が必達出来る様意識を高く持ち取り組む。前回未達だった目標はなぜできなかったのか等も自身で検討し、一つでも多くの目標が達成できる様努力する。ご利用者様、ご家族様、その周囲で支えてくださる方に安心して頂けるような支え合いの出来る事業所になれるように努力する。				
B.事業所のしつらえ・環境	・定期的な内部研修の実施により、知識や技術の向上を図り、より居心地よく使って頂ける様努力する。また、外部研修に関しても積極的に参加させて頂き、多角的な視点での見方が出来る様自己研鑽に努める。	・事業所内は毎月壁紙作成や装飾により季節を感じられるような工夫し、外出には行けないが、室内行事等でも楽しんでいただけるよう努力した。 ・ご利用者様の話を傾聴し、気持ちに寄り添えるようにすることが出来た。	・コロナ感染拡大防止の為、事業所に外部の方が出入りできない状況になったため見えてない部分もあるが、玄関先での対応で事業所に不快な思いはない。 ・あつたかほーむ通いで事業所の様子が少し分かる。等		・世の中の状況に合わせて内、外部の研修に参加可能になれば積極的に参加して頂く。今後も色々な制限があると思うが利用者様に喜んでいただけるように情報収集や創意工夫を行い努力する。				
C.事業所と地域のかかわり	・日々の生活の中で滞りなく生活が送れる様に、職員間での情報共有を確実にを行い同じサービスを提供できる様努める。また、利用者様には出来る事を見つけ、たくさんチャレンジして頂き新しい可能性を見つける。	・困り事があると柔軟に対応して下さり助かっています。と言ってくれた。報。連、相のやり方は見える形にしたりと検討したが今後もより良いやり方を検討したい。利用者様の出来る事を促すことやりがいを見つけてくださる方もいた。	・利用している側とすれば何かあれば連絡して下さるし、相談しやすいので助かっています。 ・地域のイベントや交流の面では制限があったがその中で出来る範囲は行っていたように思える。等		・地域の行事には積極的に参加させて頂き交流を図る。クリーン作戦等も実施出来る範囲で地域に出向くことを行う。事業所の発信を地域の方に広く知って頂けるようにする。				
D.地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	・地域での会議等へは現場の職員も積極的に参加させて頂き、地域の資源などの把握、またインフォーマルサービスなどの知識を増やす様努める。	・地域ケア会議への参加は制限があり出来ない時もあったが、出来る中での意見交換等は出来た。地域資源の事についてはまだまだ知識不足な面がある。	・登録利用者以外での急なお試しの希望もあり対応できた。 ・地域のイベントのはコロナ感染予防の為行っていない。 ・地域の町内会や民生委員、住民の方と協力して支えている方もおられ、その協力性に感謝している		・地域ケア会議への参加を行い、地域の悩みや困り事の共有を行い地域との交流を持てる。				
E.運営推進会議を活かした取り組み	・定期的な運営推進会議の開催により、事業所の透明化や問題点の解決、また地域での問題点を解決する場となるべく、密な関係性を作る。	・登録している方の関わり方等を聞くことが出来良かった。 ・コロナ感染予防の為書面での開催が多く直接の意見交換が出来なかった。	・年2回の避難訓練は人数を制限し11月と3月に実施、コロナ禍で合同訓練自体が出来ない時があり福祉避難所の訓練は行っていない。来年度は実施していきたい。 ・地域の防災訓練にも参加したい。		・運営推進会議の定期的な開催により地域での問題点や、困り事、事業所側の問題点や、状況などの情報共有を行っていく。今後も可能な限り交流を深める努める。				
F.事業所の防災・災害対策	・有事が発生した際に迅速に対応できる様、定期的な避難訓練の実施。また今年度も福祉避難所の避難訓練の実施。	・年2回の定期訓練は人数を制限した中で行うことが出来たが福祉避難所の訓練が出来なかった。 ・災害はいつ起こるか分からないし年々と災害に発展しそうな状況になっている、何時も対応できるようにしたい。	・災害時に避難所として使えるのはありがたい。 ・防災計画については計画を見る機会がない。		・昨年実施出来なかった福祉避難所の避難訓練の実施。災害も様々な種類があり臨機応変で柔軟な考えも必要だが必要物品の確認や連絡方法などいつ災害が起きても対応できるようにシミュレーションや訓練、マニュアルの確認等行っていく。				